

名詞を修飾するワザの全て！

【考え方 / 例文】

1. その[古い]本は私のものだ。 The [old] book is mine.
2. [机の上にある]その本は私のものだ。 The book [on the desk] is mine.
3. [英語を勉強するための]その本は私のものだ。 The book [to study English] is mine.
4. [英語で書かれた]その本は私のものだ。 The book [written in English] is mine.
5. [彼が持っている]その本は私のものだ。 The book [which he has] is mine.

→1~5 全て[]の外側は全く一緒！[]は全て「本」という名詞を修飾している！で、[]の位置に注目！全て名詞の直前か直後に置かれている！名詞を修飾したい時には名詞の直前か直後に修飾する語を置く！

→1の「古い」は形容詞で存在する。そういう場合には原則として名詞の直前に形容詞を置けばいい！例外が something, anything, nothing, everything という名詞だ！これらは名詞の直後に形容詞が入る。 例) I want to drink something [cold].

→2のように「～の上に(or 下に or 中に or 側に)いる(ある)」が、日本語で名詞の直前にある場合には前置詞句というワザで名詞を修飾することができる！詳細は、映像授業「いるあるの全て」を参照せよ！

→3のように「～するための」「～するべき」という言葉が含まれていたり、入っていないでも補えたりする場合には不定詞の形容詞的用法というワザで名詞を修飾することができる。不定詞というワザを使って名詞を修飾するので、[]の先頭が必ず不定詞となり、[]の位置は名詞の直後に来る！

参考) 私には[テニスをする]時間がない。→「テニスをするための」とできるので不定詞が使用可能。
よって、I have no time [to play tennis].

→4のように日本語で[]の中の末尾が、「～された(されている)」「～している」となっていたり、そのように書き換えたりできる場合には分詞というワザで名詞を修飾することができる。ここで注意！[]の中が「～が…している」となっている場合には分詞は使用できない！この場合は5のケースに当てはまると考えよ！これ以外では分詞というワザで名詞を修飾するので[]の先頭が必ず分詞となり、[]内が分詞1語なら名詞の直前に、複数の語句ならば名詞の直後に置く！

参考) [彼が壊した]机がある。=[彼によって壊された]机がある。→分詞で表現可能！

→5のように1~4で書くことができなパターンは関係代名詞というワザで名詞を修飾することができる。因みに、分詞で書かれている文は関係代名詞というワザを使って表すことも可能！逆は必ずしも言えないので注意！関係代名詞というワザで名詞を修飾するので[]の先頭は関係代名詞となり、[]は名詞の直後に置かれる！なお、目的格の関係代名詞のみ省略できること、whose 以外の関係代名詞が that に書き直せることも併せて確認しておく！

参考) The boy [running in the park] is Tom. = The boy [who is running in the park] is Tom.

→分詞から関係代名詞への書換えは、分詞の直前に「関係代名詞+be 動詞」を入れれば良い！